

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第29号 (2009 07)
事務局川西地区自主防災会

「～自分の命は自分で守る～」

原点にかえってみよう

香川県防災士会会長 久保 雅和

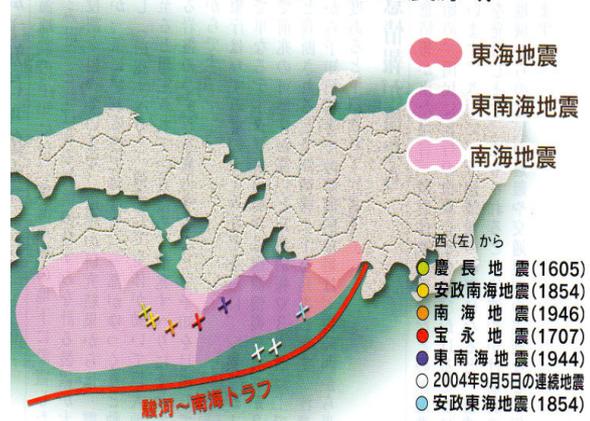
「防災の日」が近づきそれぞれの各種防災機関、自主防災組織、教育機関などなど準備、訓練に余念がないことでしょう。「防災から減災へ」といわれ続け約10余年たちます。

南海、東南海地震は今後30年の間に高い確率で必ず発生すると言われていいます。今一度、原点に戻って「**自分の命は自分で守る**」を考えてみませんか。この大切なことでできてなければ家族、地域の人を守ることができません。各家庭や各事業所でどの程度の対策が行われているのでしょうか？点検してみませんか？

家屋の耐震補強は行政の支援もあって専門家に任せるとして、家庭や事業所でできる対策等についておさらいをしてみましよう。

南海、東南海地震では香川で震度5弱～震度6弱(一部で6強)が予想され、香川県の被害想定では死者200名、負傷者3300名、家屋の全壊4500棟、半壊17000棟、浸水50000棟など想定されています。死者200名は昨年(2008年)の香川県の交通事故の死者が60余名ですから、約3倍強の被害となります。家具転倒防止対策はもちろんのことですが、特にピアノや大型冷蔵庫の固定は

東海、東南海、南海地震の想定震源域



必ずやって来る!! 南海地震

南海地震について

南海地震とは、土佐湾沖から紀伊半島沖の地域を震源として、おおむね100年～150年の間隔で繰り返し発生している地震です。そのため、次の南海地震は今後、30年以内では50%程度、50年以内なら80～90%程度の確率で発生する可能性があると考えられています。

南海地震による被害想定



エフエム香川「防災手帳」から引用

